映画「長崎ー閃光の影でー」ロケ地めぐりとあわせてチェック

彦根城

彦根市金亀町1-1

世界遺産登録を目指す彦根城。天守をはじめ、重要文化財の各櫓、下屋敷の庭園である玄宮園、内堀・中堀などが当時の姿を留めています。全国的に見てもきわめて保存状態のよい城跡で、年間を通じて多くの人々が訪れます。
開場時間：8時30分～17時（入場は、16時30分まで）／年中無休

岩脇山（いおぎ）／岩脇蒸気機関車避難壕

米原市岩脇

岩脇山には整備された遊歩道があり、山頂からは360度のパノラマが楽しめます。また、山の麓には太平洋戦争末期に米原駅の蒸気機関車を空襲から守るために掘られた未完成の列車壕が二つ残されています。

近江八幡の水郷

近江八幡市北之庄町など

近江八幡の水郷は文化庁の重要文化的景観に選定され、日本遺産の「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」の構成文化財です。市内では「水郷めぐり」（4社）・「八幡堀めぐり」（2社）が営業を行っています。

甲賀市信楽伝統産業会館「信楽焼ミュージアム」

甲賀市信楽町長野1203

太平洋戦争中には信楽焼の陶製地雷や手榴弾が製造されました。信楽焼ミュージアムでは、鎌倉時代から現代までの信楽焼を紹介しています。近隣の陶芸工房めぐりもおすすめです。
開館時間：9時～17時／休館日：木曜日（祝日を除く）、年末年始など

余呉湖

長浜市余呉町川並

賤ヶ岳（約421m）を一つ隔てたびわ湖の北にある天女の羽衣や龍神、菊石姫の伝説が残る神秘の湖です。別名「鏡湖」とも呼ばれます。湖畔には、遊歩道などの施設が完備され、レンタサイクルも利用できます。

五個荘近江商人屋敷

東近江市五個荘金堂町

東近江市は、近江商人発祥の地の一つです。重要伝統的建造物群保存地区に選定された「五個荘金堂の町並み」に並ぶ白壁と舟板塀が特徴の近江商人屋敷の界隈は風情がたっぷりです。
開館時間：10時～16時30分／休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始など

多賀大社

犬上郡多賀町多賀604

多賀大社は、延命長寿・縁結びの神様として古くから全国的な信仰を集めてきました。「お多賀さん」の名で親しまれ、駅前の大鳥居から神社までの参道の両わきにみやげ店などが並びます。
境内自由／授与所（お守り、御朱印、祈祷等）は8時30分～16時30分）

滋賀県平和祈念館

東近江市下中野町431

滋賀県平和祈念館は、県民の戦争体験を語り継ぎ、平和を願う心を育むための施設として、県民の戦争体験や実物資料、映像資料の展示、映画上映会などを行っています。
開館時間：9時30分～17時（入館は、16時30分まで）／休館日：月・火曜日（祝日を除く）、年末年始など

ストーリー

一変した日常の中で看護学生として、人として、
使命を全うしようとした少女たちの戦いが始まった――

1945年、長崎。看護学生の田中スミ、大野アツ子、岩永ミサヲの3人は、空襲による休校を機に帰郷し、家族や友人との平穏な時間を過ごしていた。しかし、8月9日午前11時2分、原子爆弾が投下され、その日常は一瞬にして崩れ去る。街は廃墟と化し、彼女たちは未熟ながらも看護学生として負傷者の救護に奔走する。救える命よりも多くの命を葬らなければならないという非情な現実の中で、彼女たちは命の尊さ、そして生きる意味を問い続ける。

菊池日菜子
小野花梨　　川床明日香

原案：「閃光の影で―原爆被爆者救護 赤十字看護婦の手記―」
（日本赤十字社長崎県支部）
監督：松本准平　脚本：松本准平 保木本佳子
制作プロダクション：SKY CASTLE FILM ふればり
配給：アークエンタテインメント
©2025「長崎―閃光の影で―」製作委員会
nagasaki-senkou-movie.jp

SHIGA LOCATION OFFICE
滋賀ロケーションオフィス

公式サイト　公式 X　公式 Facebook　公式 Instagram

滋賀県大津市京町 四 丁目１番１号　滋賀県商工観光労働部　観光振興局内
TEL:077-528-3745　FAX:077-527-7329 ［公式 HP］http://www.shiga-location.jp/

滋賀ロケーションオフィスは、滋賀県内での映像制作を誘致・支援するため、滋賀県および県内の市町が設置した組織です。
映画やドラマなどの作品をとおして滋賀県の魅力を PR し、県民の方々と共に地域振興を図り、湖国滋賀の観光の振興や活性化を目指しています。

構成会員　大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

協賛団体　株式会社R&P、今津サンブリッジホテル、株式会社ＮＹＳ、近江鉄道株式会社、有限会社菓子長、株式会社関西みらい銀行、株式会社草津第一ホテル、群星フードサービス株式会社（ごはん屋）、甲賀高分子株式会社、株式会社滋賀銀行、滋賀建機株式会社、滋賀県信用保証協会、しまだ鍼灸訪問治療院、有限会社白浜荘、生活衛生同業組合滋賀県興行協会、株式会社千成亭風土、株式会社中央精器滋賀支店、株式会社ティーウィング、株式会社tuc、株式会社トヨタレンタリース滋賀、なごみエンジニアリング株式会社、光交通社株式会社、ひこねステーションホテル、びわ湖大津プリンスホテル、琵琶湖汽船株式会社、株式会社琵琶湖グランドホテル、びわ湖放送株式会社、京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖ホテル、株式会社平和堂、ホテルピアザびわ湖、ホテルルートイン彦根、水口アレックスシネマ、明治安田生命保険相互会社 滋賀支社、
明治安田生命保険相互会社 大津北営業所、ラーメン桃李路

※本紙の無断転載・無断使用・転売を禁じます。　発行：滋賀ロケーションオフィス　発行年月　2025年7月

映画「長崎ー閃光の影でー」滋賀ロケ地マップ

©2025「長崎―閃光の影で―」製作委員会

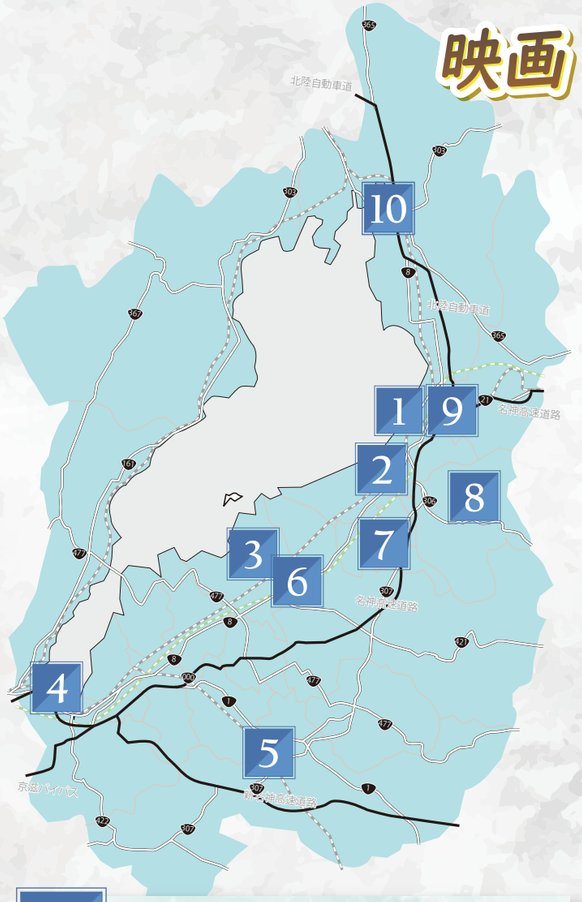
映画「長崎ー閃光の影でー」
滋賀ロケ地マップ

映画「長崎ー閃光の影でー」は、滋賀県内14箇所で約１か月にわたって撮影が行われました。

本作の ロケ地の紹介を通じて滋賀県の魅力をご紹介します！！

このページに登場する登場人物とキャスト

田中スミ（菊池日菜子）　大野アツ子（小野花梨）　岩永ミサヲ（川床明日香）
岩永信行（萩原聖人）　川西トキ子（水崎綾女）



1 世継浜　米原市世継

スミとミサヲが海辺で海水を汲んでいるシーンは、びわ湖を海に見立てて、米原市の世継浜で撮影されました。

2 彦根城　彦根市金亀町1-1

映画冒頭で、スミとアツ子とミサヲの３人がじゃんけんをしながら石段を登っていくシーンは彦根城の表門山道で撮影されました。

3 旧ヴォーリズ記念病院（五葉館）　近江八幡市北之庄町492

聖母の騎士園（修道院）のシーンは、ヴォーリズ建築である旧ヴォーリズ記念病院の病室であった五葉館で撮影されました。

※見学をご希望の方は事前にお電話にて公益財団法人近江兄弟社までご相談ください(0748-32-2456)

4 カトリック大津教会　大津市馬場2-4-6

カトリック大津教会では、ミサヲや父の信行がミサに参列するシーンが撮影されました。同教会の神父さんにも神父役でご出演いただいています。

※見学をご希望の方は事前にお電話にてカトリック大津教会までご相談ください（077-522-3987）

5 天理教甲賀大教会　甲賀市水口町貴生川330

天理教甲賀大教会には古い街並みが多く残されています。ここでは、原爆投下前の長崎の街のシーンが撮影されました。

※見学をご希望の方は事前にお電話にて天理教甲賀大教会までご相談ください(0748-62-2020)

6 旧中江勝治郎邸　東近江市五個荘金堂町

看護師たちの宿舎となった料亭「富貴楼」に見立てて撮影されました。トキ子が夜に宿舎を抜け出す場面が撮影されています。

※一般公開はしていません。

7 湖東町歴史民俗資料館　東近江市北菩提寺町126

湖東町歴史民俗資料館では、日赤長崎支部のシーンが撮影されました。看護師たちはここから各所に派遣されていきました。

※一般公開はしていません。

8 安田組採石場　犬上郡多賀町佐目

安田組の採石場には、大量のがれきが持ち込まれ、焼け野原になった長崎の街を再現した場面が撮影されました。

※一般公開はしていません。

9 岩脇蒸気機関車避難壕　米原市岩脇

スミたちがトンネル内で負傷者の手当をするシーンは、実際の戦争遺跡である岩脇蒸気機関車避難壕で撮影されました。

10 旧余呉小学校　長浜市余呉町下余呉

旧余呉小学校では、国民学校に設けられた救護所でスミたちが負傷者を手当するシーンなどが撮影されました。

※旧余呉小学校は現在は解体されています。

松本准平監督を滋賀県にお招きして特別映画上映会＆トークイベントを開催しました

令和７年(2025年)７月13日、松本准平監督を滋賀県平和祈念館にお招きし、映画「長崎ー閃光の影でー」の特別上映会およびトークイベントを開催しました。会場には80名を超える方々がご来場され、映画をお楽しみいただくとともに、上映後に行われたトークイベントでの監督のお話に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

この映画の撮影に臨まれた時の心境を教えていただけますか。

祖父が被爆者なので、僕は被爆3世という立場にあたるんですけれども、やはり、原爆という題材で映画を撮るのは並大抵のことではないので、強い覚悟が必要でしたし、シーン自体も厳しい描写も多いですから、役者さんたちやスタッフに課すものも大きい。そうした中で監督としてしっかり責務を果たさなければいけないという強い気持ちで臨みました。

戦後80年という節目の年に向けて映画を制作されたのでしょうか。

いろんな方から戦後80年にあてて作られたのかということを聞かれるんですが、そういうことはなくて、ウクライナでの戦争だったり、ガザでの紛争だったり、世界的に核兵器の使用のリスクというのが高まっている中で、今こそ作らなければいけないんだという思いを共有しながら臨みました。

戦後80年を迎えるにあたって改めて感じていらっしゃることなどがありましたら。

先日、長崎に行って改めて感じたことですが、被爆者の方々をはじめ戦争の時代を知る方々が大変少なくなっていると思います。しかし、この80年間日本が平和でいられたのは、そういった方々が「戦争はいけない」という思いをつないでくださったからだと思っています。
今回この作品を80年という節目に公開させていただきますが、戦争を経験された方々がこれまでしてくださってきたことの続きを僕たちがやらないといけないという思いを新たにしています。

本作ではほとんどの場面が滋賀県で撮影されましたが、印象に残ったロケ地はありますか?

皆さんお分かりだと思いますけど、冒頭に彦根城の表門山道の石段が出てきます。当初、石畳の坂道がなかなか見つけられなくて、苦労していたのですが、あるスタッフから、彦根城だったらいける気がするって言われて、実際、見に行ったらイメージにあう場所だったんです。ロケ地マップを作っていただけるのもうれしいです。ぜひ、いろいろな場所をめぐっていただけたらと思います。

滋賀県で気に入った食べ物などはありましたか。

長崎県出身者としては、やっぱり近江ちゃんぽんが気になりました。実際食べてみたらとてもおいしかったです。ぜひ、長崎に輸出していただいて、本場長崎でも広めていただきたいと思いました。

最後に皆さんへのメッセージをお願いいたします。

本作は、８月１日から全国で公開されます。
先日、広島でお会いしたある方が、「原爆は広島、長崎に落とされたとよく言われるけれども、『日本に』落とされたんですよ」とおっしゃっていて感銘を受けました。平和への思いを新たにしていくという意味でも、ぜひこの作品を多くの方々にご覧いただければと思っています。今日はありがとうございました。

（聞き手：フリーアナウンサー　森田恵奈さん）

滋賀ロケこぼれ話

エピソードその１
彦根城での撮影は時間との戦いでした。お城の開場時間は午前８時３０分。それまでに撮影を終了しなければなりません。朝は５時30分集合。小雨まじりの天候にも悩まされましたが、スタッフ一丸となって無事に撮影を終えることができました。

エピソードその２
解体が決まっていた旧余呉小学校が今回の撮影のメインロケ地となり、実に７日間にわたって撮影が行われました。夏場の草刈りに始まり、急な天候の変化や夜間ロケの寒さなどにも悩まされましたが、在りし日の小学校の姿を映像として記録に残す貴重な機会にもなりました。